

全鉄連流通動態調査結果表 2022年1月分

(2022. 2. 25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		12月実績	前月比	1月実績	前月比	1月実績	前月比	1月実績	前月比	
異 形 棒 鋼	東京	5,620	98.9%	31,480	91.2%	31,193	90.2%	5,907	105.1%	
	大阪	2,078	88.1%	14,441	93.5%	14,389	91.5%	2,130	102.5%	
	愛知	4,165	104.7%	3,673	85.9%	3,385	82.8%	4,453	106.9%	
	計	11,863	98.7%	49,594	91.4%	48,967	90.0%	12,490	105.3%	
形 鋼	山 形 鋼	東京	17,763	99.7%	6,709	82.6%	7,453	91.1%	17,019	95.8%
		大阪	23,216	104.7%	7,727	85.1%	7,061	87.9%	23,882	102.9%
		愛知	9,198	118.4%	3,959	71.7%	3,645	89.1%	9,512	103.4%
		計	50,177	105.1%	18,395	80.9%	18,159	89.4%	50,413	100.5%
	溝 形 鋼	東京	15,462	106.2%	5,566	82.1%	5,374	91.4%	15,654	101.2%
		大阪	14,428	105.8%	5,786	90.8%	4,843	86.8%	15,371	106.5%
		愛知	6,452	112.5%	3,519	84.0%	3,085	88.8%	6,886	106.7%
		計	36,342	107.1%	14,871	85.8%	13,302	89.1%	37,911	104.3%
	H 形 鋼	東京	33,676	105.4%	17,216	94.6%	14,842	90.1%	36,050	107.0%
		大阪	47,975	106.0%	24,818	100.2%	20,795	94.4%	51,998	108.4%
		愛知	17,081	124.3%	9,529	82.6%	6,866	83.9%	19,744	115.6%
		計	98,732	108.6%	51,563	94.6%	42,503	91.0%	107,792	109.2%
合 計		185,251	107.3%	84,829	89.7%	73,964	90.3%	196,116	105.9%	
コ ラ ム	東京	7,629	110.5%	2,326	82.0%	1,579	74.8%	8,376	109.8%	
	大阪	12,905	103.2%	3,972	118.4%	3,047	103.0%	13,830	107.2%	
	愛知	1,718	114.2%	738	70.9%	654	79.1%	1,802	104.9%	
	計	22,252	106.4%	7,036	97.3%	5,280	89.6%	24,008	107.9%	
軽 量 C 形 鋼	東京	3,583	106.1%	1,575	84.9%	1,484	90.0%	3,674	102.5%	
	大阪	3,120	100.1%	1,516	107.3%	1,329	94.3%	3,307	106.0%	
	愛知	3,005	106.4%	1,095	89.3%	923	88.4%	3,177	105.7%	
	計	9,708	104.2%	4,186	93.1%	3,736	91.1%	10,158	104.6%	
総 計		229,074	106.6%	145,645	90.7%	131,947	90.2%	242,772	106.0%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 **東京30 大阪18 愛知12 合計60社**

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。